

第二回ブロック検討会（2007/06/16）

意見交換で出されたご意見・傍聴者からのご意見

1．協議内容に対する意見（府3・3・8号線、調3・2・6号線の事例を見て）

（1）公共施設の再整備に関すること

横断歩道はどこに設置されるのか。横断歩道の設置箇所について早急に警察との協議の上、決めていかなければならない。

側道方式は良い方式だと思うが、国3・2・8号線のケースではどうなるのか
国分寺の道路は、府中・調布と違って斜めに交差する。

50本の生活道路が分断される問題は避けられないと感じた。

（2）環境施設帯に関すること

調3・2・6号線では保存樹としてシラカシが歩道内に残されており感心した。国分寺においても同様の取り組みをしてほしい。

10mの環境施設帯はグリーンベルトで整備されるということで、良いと思っていたが、実際はほとんどが側道副道、歩道であった。緑地があっても切り開きで分断される。

歩道と自転車道と区分されているところ、いないところが混在しており、統一したほうが良い。歩道と自転車道の区分方法に工夫が必要（段差をつける、国立駅前等を参考に）。

沿道の公害、大気汚染をどう防ぐかが問題。東八道路は問題があると聞いたが、そうでもなかった。府3・3・8号線・調3・2・6号線はほとんど落葉樹であったのに対し、東八道路はマント群落でありむしろ良いと思う。落葉樹は冬の間、葉がなく問題である。

今回の事例（府3・3・8号線・調3・2・6号線）のような植栽が良い。沿道住民がどこに視点を置いて樹種を決めていくかが課題。

今回の事例（府3・3・8号線・調3・2・6号線）で見た程度の植栽の量が良い。沿線が明るく問題も無く良いのではないかと思う。

東八道路の植栽は素晴らしいと聞いていたが今は問題がある。国3・2・8号線も今回の事例（府3・3・8号線・調3・2・6号線）のような量でよいと感じた。

2．検討会運営に対する意見

次世代を担う若者の意見を聞くために、学生にアンケートを行ったらどうか。数年後には自動車の運転をするはずなので、もっと幅広い世代の意見を聞いたほうが良い（学校の行事を利用するなど）。